

学力向上 ～次代のまちを担う人材の育成を目指して～

健全育成の充実

“基本的な生活習慣の確立に向けて”

- 人権教育、道徳教育、特別支援教育の推進
 - ・人権教育総合推進地域指定（H20～22）国事業
 - ・発達障害等・特別支援教育総合推進事業（H20）
- 学校生活の充実に向けた各種支援員の配置

～平成 23 年度

基礎学力の定着

“基礎学力の定着に向けて”

- 学力向上事業の推進
 - ・学力向上パートナーシップ事業指定地域（H25～26）都事業
 - ・学力向上推進研究校（H24～27）
- 学力向上推進委員会の設置

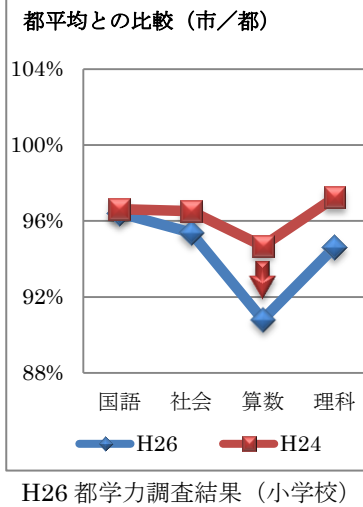
平成 24 年度～

確かな学力の育成

“主体的に学び、学んだことを活かせる子どもの育成に向けて”

- 21 世紀の課題解決型学力を育む授業改善
 - ・小中連携教育の推進
 - ・立川市民科の導入
- 学力向上事業の推進
 - ・学力ステップアップ推進地域指定（H27～29）都事業

小学校の現状

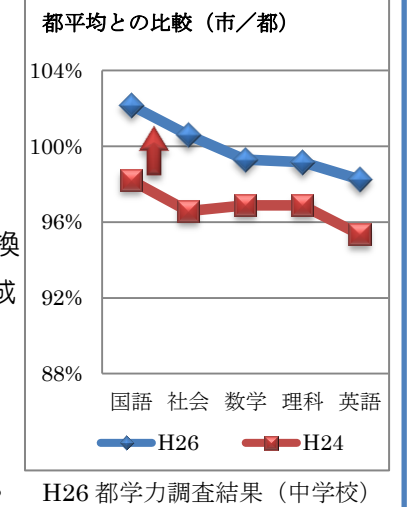


- 成果
 - ・学習規律の確立
 - ・学び合う授業の展開
- 課題
 - ・定着度の二極化
 - ・理数教科の落ち込み
- 総括
 - 授業改善の意識は高いが、基礎学力を定着させる取組が不十分である。

27 年度の課題と方策

- 課題 1 小学校の基礎学力の向上 【最重要課題】
 - 方策 1 補充的な学習の充実 ➢①学習支援員の導入 ②東京ベーシック・ドリルの活用
 - 方策 2 授業力の向上 ➢①校内研究 ②教員研修 ③教員育成体制の充実
- 課題 2 小中連携教育の推進
 - 方策 1 小・中学校教員の協働・連携 ➢①小中連携外国語活動 ②立川市民科
 - 方策 2 中学校区を単位とした学校経営の連携 ➢①実施計画策定 ②組織体制構築
- 課題 3 中学校の授業改善
 - 方策 1 学び合う授業への転換 ➢①校内研究の充実 ②ICTを活用した授業づくり
- 課題 4 ネットワーク型学校経営の推進
 - 方策 1 専門性を有する人材や民間の教育力を活用した授業の実施

中学校の現状



- 成果
 - ・基礎学力が向上
 - ・組織的に補習を実施
- 課題
 - ・学び合う授業への転換
 - ・主体的に学ぶ生徒の育成
- 総括
 - 補習の成果により基礎学力が定着してきた。今後は、授業の質を高める。

授業力の向上

“分かる授業の実現に向けて”

- 研究活動の充実
 - ・学力向上推進研究校の指定（H24～27）
 - ・研究校の指定（全校）
- 学力向上推進委員会の設置
 - ・学力向上策の検討と検証

授業改善、補習・家庭学習、東京ベーシック・ドリルの活用

- ネットワーク型の学校経営の推進
 - ・市民科（地域の人材・施設）の活用

“学び合う授業の実現に向けて”

- 小中連携による研究活動の推進
 - ・小学校の授業改善の中学校への導入
- ICTを活用した学びの質の向上
 - ・タブレットPCの全校導入（H27～29）



学力ステップアップ推進事業（都指定）

“基礎学力定着から 21 世紀型学力育成へのステップアップに向けて”

- 実態把握
 - ・学力調査、東京ベーシック・ドリル、理科意識調査
- 補充的な学習の充実
 - ・小学校学習支援員を活用した補習
- 授業力向上
 - ・指導力向上巡回アドバイザーの導入
 - ・基礎学力定着アドバイザーの派遣

- 目的 算数・数学、理科の学力向上と授業力向上
- 規模 11,990 千円/年
- 期間 平成 27～29 年度

“義務教育 9 年間を見通した学校教育の実現に向けて”

- 中学校区を単位とした教育活動の推進
 - ・小中連携外国語活動の推進 ⇒中学校英語科教員の小学校への派遣
 - ・立川市民科の導入 ⇒まちに貢献しようとする子どもの育成
 - ・学校経営の共通方針、目指す子ども像の設定

小中連携の推進

学習機会の拡充

“授業で学んだことの定着に向けて”

- 補充的な学習（補習）の実施
 - ・放課後、長期休業日、土曜日の補習
 - ・始業前や昼休みを活用した補習
 - ・放課後子ども教室と連携した補習
- 外部人材の活用
 - ・中学校学習支援員の派遣（H26～）
 - ・小学校学習支援員の派遣（H27～）
 - ・民間教育機関講師の活用（研究校）

- 家庭学習の定着に向けた啓発
 - ・家庭学習リーフレットの配布

“学ぶ場づくりに向けて”

- 自学・自習できる学びの場づくりの検討
 - ・学社連携の強化